

令和元年10月21日
総務部

スマート改革の検討の進め方について

1. 基本方針

生産性の向上と正確性の確保を両立させた「スマート自治体」の実現、キャッシュレス、デジタル・マーケティング等の新しい技術を活用した政策の展開による県民サービスの向上、県内の市町や企業のスマート化に向けた支援等のこれからの時代の三重県庁に求められる一連の取組については、各部局の取組の相互の連携を図りつつ、全庁的に一貫した形で推進する必要がある。

このため、一連の取組の推進を「スマート改革」として総合的に検討し、その成果を「みえスマート改革宣言（仮称）」として年度内に取りまとめ、令和2年度からの本格実施を目指すこととする。

2. 具体的な進め方

行財政改革推進本部において、検討の進捗状況を全庁的に共有するとともに、ゲストスピーカーによる先進的な事例の紹介により、改革の先頭に立つ各部局長の意識・理解の向上を図る。

若手・中堅職員を中心とする有志により構成する「スマート改革検討チーム」において、スマート改革の推進に向けての現状の課題と今後の方向性について、各部局の取組を踏まえつつ、全庁的な視点により総合的に検討する。

議論の対象は、キャッシュレス、デジタル・マーケティング等の新しい技術を活用した政策の展開の将来像から、その実現のために必要となる職員の意識改革、業務遂行の効率化、政策立案・実行能力の向上、組織の見直し、県内の市町や企業への支援の在り方まで、あらゆる課題とする。

スマート改革検討チームは、県民サービスの向上に取り組む職員の立場から、主体的に策定した下記目標に沿って、自由な発想で議論した上で、実行まで見据えた具体的な提言を行う。

スマート改革検討チーム 目標（事前勉強会において策定）

- 県庁のスマート改革により、職員満足度と仕事の質を高め、県民サービス向上を実現する。
 - ・ 県庁全体の政策立案・実行能力を向上させるため、職員がより生産的な活動にあてる時間を確保する。
 - ・ 業務プロセスを明確化・改善することで、不適切な事務処理を防止し、職員に余裕を生み出す。
 - ・ Society5.0に対応し、SDGsの考え方に基づく成果を達成するため、施策や業務を速やかに改善する組織を実現する。
 - ・ 明るく楽しい職場を実現し、職員のワークやライフを充実させるため、業務削減や効率化を進める。

「みえスマート改革宣言（仮称）」については、スマート改革検討チームでの議論や令和2年度当初予算の内容を踏まえつつ、年度内に取りまとめを行う。